

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和4年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 大仏山公園（多気郡明和町新茶屋他地内）
指定管理者の名称等	有限会社太陽緑地 代表取締役 吉川 信吾（伊勢市下野町600-13）
指定の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園施設のうち野球場、テニスコート及びゲートボール場の利用の許可 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R3	R4	R3	R4	
1 管理業務の実施状況	B	B			植物管理や公園施設の管理を適切に行った。 また、園内遊具について、年1回の法定点検に加えて独自に専門業者による点検を行うなど、利用者の安全により配慮することで、公園の効用を高める取組を行った。
2 施設の利用状況	B	B			公園ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、感染症対策を行った上でテニス教室や里山マルシェなどのイベントを開催し、公園の利用促進に努めた。
3 成果目標及びその実績	C	B	+		年間利用者数は、成果目標の21万5千人に対し、利用者数212,776人となった。

※「評価の項目」の
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理業務の実施状況」は、業務仕様書に基づき適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。 ・「施設の利用状況」は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で集客が困難な中でも、感染防止対策を徹底した上でイベント開催や、Webを活用した情報発信等を行って集客に努めたことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。 ・「成果目標及びその実績」は、公園利用者数が目標値の99.0%となり、目標をほぼ達成した。これは、感染防止対策を徹底しながら、利用者が安全・安心に利用できるような適切な管理業務を行うとともに、自主事業の実施等で公園の利用促進に努めた結果といえることから、県としても指定管理者の自己評価と同じ評価とした。 <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者には、利用者の安全確保に向けた施設の適切な維持管理の徹底とともに、野球場やテニスコートなどのスポーツ施設に加えて、自然散策路などの恵まれた自然を有する当公園の特色を最大限に活かして、更なる公園の利用促進策の展開を期待する。
--------	---

<指定管理者の評価・報告書（令和4年度分）>

指定管理者の名称：有限会社太陽緑地

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 県営都市公園大仏山公園事業の実施に関する業務

- ・ コロナ禍前は年2回開催していた大型イベントは前年同様中止としたが、「星の観察会」は通常通り8月に2回開催した。「ミニ門松教室」は前年同様開催しない代わりに指定管理者が作成したものを来園者に配布するなどした。
- ・ 4月16日に県民の日を記念して、花苗の無料配布とでテイクアウト料理の販売イベントを実施したほか、5月には里山フェスを、11月には里山マルシェを開催し、テイクアウト料理の販売やステージイベントを行うとともに、都市緑化月間の一環として花苗の無料配布を行うなどして集客に努めた。
- ・ 「テニス教室」は前年同様1面8人までの利用制限を設けることで感染防止対策を徹底した上で、通常通り年5回開催し、平日昼間の利用促進につなげた。
- ・ 花の開花状況等の公園の見どころをホームページやSNSで広報した。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・ 公園全体で快適な景観を維持できるよう、緑地管理を適宜行った。
- ・ 当公園は遊具の数が多く利用者も多いため、引き続き2ヶ月に1度は専門業者が点検しており、利用者が安全かつ快適に利用できるように努めている。
- ・ 職員による1日の巡回回数を夏場は7回、冬場は5回実施して、園内の安全管理の強化に努めている。
- ・ 修繕や補修については、主に以下のとおり実施した。
多目的広場他照明灯交換、多目的広場トイレ排水管交換、管理棟内照明操作盤タイムスイッチ交換、第四駐車場照明灯交換、明和側浄化槽放流ポンプ槽フロート交換、多目的広場男子トイレ便座交換、管理棟浄化槽流入管インバート樹つまり、子供広場スプリング遊具1基の修繕

③ 施策への配慮に関する業務

- ・ 「持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動」として、緑地管理で発生した刈草や枝葉は園内の森林地に敷き、自然に帰すようにしている。
- ・ 「男女共同参画社会の実現」として、職員の採用については男女関係なく採用するようにしている。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・ 大仏山公園の管理に関する情報公開実施要領に基づき対応している。令和4年度の開示請求は0件であった。
- ・ 個人情報保護管理マニュアルを作成し、職員に周知している。

⑤ その他の業務

- ・ 県が策定した「県営都市公園の利用に関するガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適切に行った。

(2) 施設の利用状況

<目標>	年間公園利用者数	215,000人
<実績>	年間公園利用者数	212,776人（前年度：194,021人 対比：109.7%）
	(内訳)	
	園内利用者数	： 193,230人（前年度：179,420人 対比：107.7%）
	野球場	： 7,930人（前年度：5,512人 対比：143.9%）
	テニスコート	： 10,424人（前年度：8,980人 対比：116.1%）
	ゲートボール場	： 1,192人（前年度：109人 対比：1,093.6%）

2 利用料金の収入の実績

4,094,970 円
●有料施設の利用に伴う収入 <目標> 5,300,000 円 (管理目標として設定) <実績> 4,094,970 円 (内訳) 野球場 1,064,800 円 テニスコート 3,030,170 円
●行為許可に伴う収入 該当なし

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	R3	R4		R3	R4
指定管理料	45,056,000	44,993,000	事業費	32,859,700	31,900,500
利用料金収入	3,434,530	4,094,970	管理費	17,810,819	18,971,980
その他の収入	2,630,700	1,989,400	その他の支出	0	
合計(a)	51,121,230	51,077,370	合計(b)	50,670,519	50,872,480
収支差額 (a)-(b)	450,711	204,890	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	— (減免実績なし)
---------	------------

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 215,000 人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 212,776 人
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの感染状況を見極めてコロナ禍前に実施していた春・秋の大型イベントの復活を図っていくとともに、コロナ禍を経て広まった「新たな日常」を見据えた新たな少人数でのイベントの検討を行い、利用者の拡大を図っていききたい。 ・ インスタグラム等 SNS での発信を強化し、公園内の情報をタイムリーに公園利用者に届ける取組を行っていききたい。 ・ 園内の設備の状況を把握し、老朽化対策及び修繕時期等を県と協議していく。 ・ 安心かつ安全に公園を利用してもらうため、防犯対策を県と協議していく。 ・ 公園内の緑地管理及び維持管理をより充実させるため、近隣の自治会に働きかけるなどし、作業協力者を求めていく。

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R3	R4	
1 管理業務の実施状況	B	B	<p>維持管理としては、夏場は雨天が多かったものの、計画的かつ適切に作業を実施し、利用者に配慮した緑地管理ができた。</p> <p>運営管理としては、コロナ禍の中、利用者への丁寧な説明と対応を心がけて十分な感染対策を図ることで、トラブル等はなかった。修繕関係は、電気関係、浄化槽関係、遊具関係などがあったが、その都度迅速に対応し、利用者に快適に公園を利用してもらえるよう努めた。</p>
2 施設の利用状況	B	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなりつつあったものの、感染者数自体は相当数いたため、総合的に情勢を判断して大型イベントは中止した。</p> <p>一方で、例年、年5回開催していた「テニス教室」は感染症対策を行った上で予定どおり開催し、人気イベントである「星の観察会」も実施した。なお、「ミニ門松教室」は、昨年度同様にワークショップ形式ではなく、当方で作成したものを配布する形式での実施とした。また、テイクアウト料理の販売やステージイベントを主とするイベントを昨年度に引き続き実施し、コロナ禍で生じた公園利用者のニーズの変化に対応したイベントも開催し、集客に努めた。</p>
3 成果目標及びその実績	C	B	<p>全体公園利用者数は 212,776 人となり、令和3年度実績(194,021人)と比べると増加し(対比で 109.7%)、成果目標とする 215,000 人を概ね達成することができた。</p>

- ※評価の項目「1」の評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※評価の項目「2」「3」の評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

<p>総合的な評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の評価に至った根拠・理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営管理、維持管理、修繕業務とも適切に行っている。 ・ 年間公園利用者数は令和3年度比で 18,755 人増加(対比で 109.7%)し、概ね成果目標どおりとなった。 ・ 上記を踏まえ大型イベントの復活や、新たな中小イベント等の自主事業を検討し、更なる公園の利用拡大につなげていきたい。 ●残されている課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経年劣化に伴う施設修繕費の増加。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことから、成果目標(215,000人)を上回っていくための利用促進策の検討。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も安全・安心はもとより環境にも配慮しつつ、利用者に快適と感じて頂けるような管理を継続していく。 ・ 公園遊具の年次点検結果を踏まえて、修繕が必要な部分県と協議して改修等を要望していく。 ・ 施設修繕について、直営で行い得る範囲の事は自社で行い、経費節減に努めていく。
---------------	--